

大阪府保育士会だより

ほほえみ

平成20年12月1日

第80号

大阪府社会福祉協議会
保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54
TEL 06-6762-9001

育児の悩みを聞きます。

みなさんあそびに来てね。



育児の不安や悩みを聞くことも多く、話しやすい保育士をめざすとともに、園が居心地のよい場所になる

当園では園庭開放「かるがもクラブ」や、育児セミナー、母親教室、月行事への招待、

出前保育などの地域子育て支援事業を実施しています。子育てサークルの開催日には必要に応じ、エプロンシアターや人形劇なども行

ようニーズに合わせた子育て支援を展開していきたいと考えています。

堺市 東三国丘保育園



地域とともに

ふれあいが大切に



子どもをみんなで守ろう

警察、声かけ隊の

安全指導

10月末に警察、声かけ隊（地域の高齢者ボランティア）の方を招いて交通安全指導会を行いました。地域の子育て家庭のみならずも参加し盛大なものとなりました。警察の方からは、交通ルールと連れ出しに対する防犯

守口市 錦保育園



地域の子育て支援の保育カリキュラム（園庭開放は週一回、親子であそぼう教室は月二回）を組み始めて二年が経過しました。毎日、遊びの終わりにアンケートを保護者の方にお願ひしているのですが、「外遊び」がしっかりとできた時はとても喜ばれます。家庭での子どもたちばかりでおもいっきり楽しく遊ぶというところが少なくないです。『あそぼう教室』から帰ったらとてもよくお昼寝してくれます」という声もよく聞かれ、昼下がりのひととき、ほっとしているお母さんの姿が目に浮かびます。初めて参加する小さな子どもたちは、いつもの環境と違うため叫び声をあげたり、友だちと触れるのを嫌がったり、おもちゃを乱暴に取り合ったり投げたりという光景がよくあります。でも何回か続けて参加するうちにほとんどの子が落ち着いてきて、お母さんに

子育て支援シリーズ② 親子であそぼう教室 給食試食会はふれあいの場に



「○○ちゃん機嫌良く遊んでいるね」と声をかけると、お母さんも「安心した」という嬉しそうな表情をさねます。みんなの中で仲良く遊ぶ姿は母親を安心させるものがあるのかなと思います。いつも20組40人前後の親子が参加され、一人一人が楽しいと思えるように取り組むことは大変であります。お母さんたちの力を借りて遊びや月一回の給食の試食会も行っています。試食会では子どもたちも家で食べていない食材を食べたり、完食したりと普段よりも、歩も二歩も前進、お母さんたちはそれを見て報告してくれま



試食会ではあま

河内長野市
南嶺保育園



職員が連携し質の向上をはかろう

保護者とのパートナーシップも重要

20年度主任保育士

研修会が7月25日、保護者とのがかわりと支援

8月1日、8月4日 講師 中部学院大学

寺見陽子教授

福祉指導センターで

139名が参加し開

催されました。

▼第1日目

①保育所保育指針の

改定と保育指導・家族援助・

保育ソーシャルワークにつ

いて

講師 大阪市立大学

山縣文治教授

②大阪府の保育の現状につ

いて・児童虐待等の現状と

保育所の役割について

講師 大阪府児童家庭室子

育て支援課

中矢純司課長補佐

講師 大阪府児童家庭室家

庭支援課

薬師寺順子課長補佐

生活環境が変化する中、

保育所職員が連携し保育の

質を高めることの大切さを

学び、続いて大阪府から、

保育所の質の向上のための

アクションプログラムの具

体的な施策や、近年増加し

ている虐待についての現状

報告が行なわれました。

から信頼さ
れ、専門職
として向上
しなければ
と痛感しま
した。



泉大津市

南海かもめ保育園

保育士研

修会が9月

3日、葉葉

年金会館で

開かれ、生

涯音楽アカ

デミー理事

長の山地寛

和氏を講師

に迎え実践

講習会が行

なわれまし

た。

(参加者人

数114名)

大西調子

会長の挨拶

のあと、泉

州ブロック

常任委員に

よる「はら

べこあおむし」が披

露されました。大き

な青虫を曲に合わせて動か

し話が進んでいきます。大

変素晴らしいショーに参加

者は大いに盛り上げました。

保育士研修



音楽を通して子どもの心を育てよう

— 集中力の養い方など実践



堺市 石津川保育園

山地氏からは、コミュニ

ケーションのとり方、集中

力の養い方など学びました。

1対1でできるものから2

人、3人と増やしていき、

最後には全員でひとつにな

れるようピアノを使って触

れ合えるゲーム、とても楽

しい講習会となりました。

山地氏は「幼児音楽教育」

の研究と提案、その実践を

通して、多くの子どもたち

が集中力や想像力といった

人間力を楽しく身につけら

れるよう「心を育てる音楽

遊び」を現場に発信してい

きたいと述べられました。

堺市 石津川保育園

中堅保育士研修

中堅保育士研修会
が11月5日、大阪府
社会福祉会館5階ホー
ルで行なわれました。

参加人数は212名。

近大姫路大学講師、

川原佐公氏が「新保

育所保育指針」とい

うテーマで講義。指

針の構成や変わった点につ

いて詳しく説明されました。

まず新指針は平成20年に

告示され21年4月に施行さ

れること、保育所の役割が

明確化され、これが保育課

子がTシャツに早がわり。



新保育指針のポイントや 保育に活かせる手遊び学ば

程の理念になることを指摘
されました。

保育課程は子どもの成長

を長期的に見通した一貫性

のある計画でなければなら

ないこと、子どもが環境に

関わって創造性を発揮でき

るように保育士は環境を整

えることが大切というのが

重要なポイントです。

続いて南海福祉専門学校

専任講師、向山幸美氏の

「保育に活かせる手遊び」

実践講習があり、新聞紙で

帽子を作り「ピクニック」

という手遊びをしました。

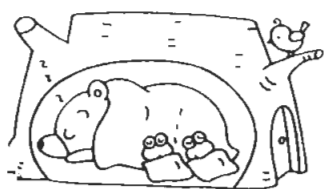
素話しが加わり、そこで帽

歌・お話し・手遊び・騒動が
あり子どもが楽しめるもの
ばかりでした。

向山氏の明るく優しい語

らいが心に残りました。

守口市 錦保育園



第52回全国保育研究大会

家族・地域の絆を深めよう……

第5分科会

第52回全国保育研究大会

は「すべての人が子どもと

子育てに関わりをもつ社会の実現を目指して」をテーマに10月30日から3日間、全大会と13分科会に分かれて、広島市の広島国際会議

場と市内内の会場で行なわれ

ました。

初日は式典に続いて、厚生労働省からの行政説明があり、そのあと小川益丸全国保育協議会会長から基調報告が行なわれました。

2日目は分科会に分かれて研究発表や講師の先生方の講演がありました。「家族・地域の絆を深めよう」をテーマにした第5分科会では川崎医療福祉大学特任教授、佐々木正美氏が講演。

午前中は「人間関係」について話され、午後の部では外部の方や子育て中の親も多数参加され、「母子の在り方」などについてわかり易く述べられました。



3日目の記念講演には、アーティスト、世良公則氏が幼少の頃からのエピソードなど興味深い話しをされました。

東大阪市 たいよう保育園から行政説明がされました。記念講演では新沢としひこ氏の「遊ぶうた」などが披露されました。

保育士の学びのシリーズ①

近大姫路大学

川原佐公氏



子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること。後略」と、保育の目標を達成するための留意点として「保育の環境」を大切に

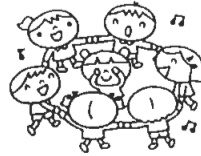


子どもの自由な主体的な生活を尊重する環境づくり

今回告示された「保育所保育指針」第一章総則の3保育の原理(一)「保育の方法」の次に「子どもが自発的、意欲的に関われるような環境を構成し、子どもの主体的な活動や子ども相互の関わりを大切にすること。後略」と、保育の目標を達成するための留意点として「保育の環境」を大切に

求に基づいて環境にかかり直接的な体験を通して、生きる力を身につけていくのです。環境による保育は、子どもの自由な主体的な生活を尊重する環境づくりが考え方の軸になっています。子どもの主体性とは、他

子どもが、興味・関心を持って能動的・意欲的に環境に関わって自ら創造していくものが活動だという考えが重要です。



人がどうであれ、自分はこのうなのだと思身身の考えにもとづいて行動を選択したり、判断してものごとを決定したり、人を頼りにしない自立心、自律心から生まれるもので、人との関わりをなかで意味を持つてくるものです。そして子どもが、興味・関心を持って能動的・意欲的に環境に関わって自ら創造していくものが活動だという考えが重要です。

求に基づいて環境にかかり直接的な体験を通して、生きる力を身につけていくのです。環境による保育は、子どもの自由な主体的な生活を尊重する環境づくりが考え方の軸になっています。子どもの主体性とは、他

求に基づいて環境にかかり直接的な体験を通して、生きる力を身につけていくのです。環境による保育は、子どもの自由な主体的な生活を尊重する環境づくりが考え方の軸になっています。子どもの主体性とは、他



音楽を通して子どもに感動体験を

第42回全国保育士会研究大会 第4分科会

保育園が、小嶋玲子先生を助言者に「音楽的側面から見た子どもの発達と関わりについて」報告しました。

乳幼児を預かる保育園では毎日さまざまな活動が「遊び」として展開されています。中でも音楽はあらゆる生活場面で比較的身近なものです。その音楽を有効に用いるということとは、子どもに音楽的な技術訓練を行うということより、「音」「音楽」を通していかに感動体験を提供し情緒豊かに育てることが大切で



発表する徳間奈緒美さん

そのためにはまず保育士自身が感性を磨くことが大切。音楽はその手段として取り入れやすいという点を強調しました。



大阪府保育士会からは池田市の社会福祉法人さつき

保育のあんな工夫

こんな工夫

挨拶の習慣身につく

貸し出し紙芝居



当保育園では、朝・昼・や「ありがとう」がきちんと紙芝居や絵本の時間がありません。事務所には貸し出し用の紙芝居があり、当番の子どもたちが借りにきます。「紙芝居貸して下さい」と事務所に入り、題名や最初の絵柄を見て子どもたちなりにいろいろ考えて選びます。そして各クラスへ帰り、紙芝居を読んでもらったあと、「紙芝居ありがとうございました」と返して来てくれます。



もともとそのクラスで遊ぶおもちゃや紙芝居・絵本は各クラスに用意されてきました。それで不都合はないのですが、ある時、子どもたちが何かをお願いする時や何かをしてもらった時の挨拶で、「して下さい」

造形活動を通して子どもたちの情操の陶冶と自主性・主体性の育成を目指しています。

10月初旬、連日の運動会の練習でやや疲れ気味の子どもたちに、目を輝かせて造形活動に取り組んでもらいたいと計画しました。お話は簡単、「3匹の子豚の

楽しい保育活動



力を合わせ怪獣を

げきたいしだろ



狼よりも、もっと怖くて強くコンクリートでも鉄でも食い破る怪獣が、30分後に君たちの所にやってくるの知らせが入った。でも、この怪獣、新聞紙だけは苦手で、新聞紙に触れると身体が溶けるらしいとのこと。さあ、みんなで隠れるところを作ろう」と、新聞紙と



高槻市 川添保育園

編集後記

師走に入ると急に周りのあわただしさを感じます。先生方もお忙しくされておられる事でしょうね。

過日、聖路加国際病院理事長、日野原重明先生のご講演を聞く機会がありました。

97歳のご高齢を感じさせない元気なお声で、一時間もの間、舞台を右へ左へと動かれるお姿、又ユーモアを交え話される内容に感銘を受けました。

「日本は世界一の少子高齢国です。このままでは日本の将来は暗いものになります」と日野原先生も案じておられました。私たちは未来ある子どもたちと共にこれからも、すばらしい明日を目指し躍進しなければと思いました。

本年も色々ご協力有難うございました。

来年もよろしくお願いいたします。



から夢中です。

「あと何分だよ」とか、「ここに隙間があるよ」と言うだけ。30分後には見事完成してシーン。

「怪獣がくるぞー！かくれる!!」



もたち、出来る。みんなの力を合わせ人ひと助ければ出来る理想とする子が、それぞれ像があらわれた楽しく、それぞれの性 充実した保育でした。

格や表情を見せな

泉大津市 アンビー